

令和6年度第2回大原市民センター運営協議会 会議録

- 1 会議名 令和6年度第2回大原市民センター運営協議会
- 2 開催日時 令和7年3月21日（金）午前10時から午前11時45分まで
- 3 開催場所 大原市民センター 1階 中会議室
- 4 出席者
 - (1) 委員 熊谷幸次委員、金野恒男委員、金野信代委員、千葉邦弘委員、伊東研二委員
 - (2) 事務局 熊谷淳大原市民センター所長、菅原安彦主査
- 5 議題
 - (1) 令和6年度大原市民センター事業実施報告について
 - (2) 令和7年度大原市民センター運営方針及び事業計画（案）について
 - (3) その他
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴者の数 なし
- 8 熊谷淳大原市民センター所長挨拶

本日は、年度末を迎え何かとお忙しい中、大原市民センター運営協議会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、日頃から市民センターの運営にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本運営協議会の委員は、市民センター等運営協議会設置要領に基づき、地域協働体である「大原まちづくりの会」様より推薦をいただきました候補者から、5名の方を任命しております。年度内の任命替えを行っておりませんので、第1回と第2回の委員メンバーは、同じ皆さんにご案内をしているところです。

本日は今年度2回目の開催となります。本会議は、市民センター全般にわたり、事業実績、活動状況、運営方針及び事業計画等の説明を行い、委員の皆さんからご意見をいただくものです。委員の忌憚のないご意見を頂戴し、今後の運営に反映して参りますので、よろしく願いいたします。

なお、本会議は、傍聴可能な会議となっており、会議内容につきましては、市のホームページに公開となります。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。
- 9 議長選出
互選の結果、熊谷幸次委員が選出された。
- 10 審議内容

(1) 令和6年度大原市民センター事業実施報告について

資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 閉校した学校から持ってきたアップライトピアノの調律等を行っているのか。

事務局 調律については、年1回行う予定で、ホールにあるグランドピアノと一緒に調律を行っている。なお、アップライトピアノは、無料でストリートピアノのように、センターの開館時間であれば、自由に弾いてもらうことを目的としている。

委員 閉校した旧大原中学校の所管課はどこになるのか。

事務局 大東支所地域振興課のまなび・いきがづくり係である。

委員 閉校した中学校には、まだ備品等は残っているのか。

事務局 閉校時に中学校で必要な備品は所管替えを行い、不要な備品は、まだ中学校に残っている。また、市民センターで活用できる物品等は、地域振興課に了承をもらい譲り受けている。

委員 閉校した中学校の中にある備品について、各団体が地域振興課へ協議をすればいただけるのか。

事務局 現時点では、市の内部でのやり取りであり、地域団体へ払い下げるような情報は入っていない。

委員 旧大原中学校の部室にトレーニング器具があるはずなので、大東勤労者体育センターではスペースがなく無理と思うが、体育施設などで活用した方がよいのではないか。

事務局 旧大原中学校の部室にトレーニング器具があることは承知しているが、市民センターとしては、今のところ活用の予定はない。また、スペースや維持管理費の観点からも活用は難しい。

委員 予算も厳しいようだが、どのように市民センターを管理運営しているのか。

事務局 限られた予算の中ではあるが、必要性や優先度を考慮しながら、修繕等を行っている。また、事業内容についても、利用者の意見を取り入れ、今年度は、閉校した小学校で使用されていたアップライトピアノの譲渡を受け、お披露目会を兼ねたピアノ発表会を開催した。今後も、幅広い年代の皆さんが事業へ参加できるよう、創意工夫に努める。

委員 社会教育関係団体の登録が19団体となっているが、どのような団体が

登録しているのか。

事務局 社会教育関係団体は、社会教育事業を行うことを主な目的とし、自主的に運営される団体で、趣味サークル、学習活動団体、文化活動団体、スポーツ活動団体、地域活動団体等である。具体的には、ヨガ、書道、カラオケ、陶芸、絵手紙、囲碁、麻雀、吹き矢、ビリヤード、ゲートボール、グラウンドゴルフ等がある。今年度は、英会話サークルと太極拳のサークルが活動を休止し、新たに、「こはぎの会」が新規登録をした。なお、社会教育関係団体に登録している場合は、施設の利用の際には使用量が50%減免される。

委員 ビリヤード台について、大原市民センターに6台あるが、他の施設ではここまで揃っているのか。

事務局 市内で、ここまでの台数が揃っているところはない。6台のうち1台は、市の所有であり、残りの5台は、ビリヤード同好会の所有である。今年度の開催はなかったが、一関市長杯の大会もあり、同好会の活動に限らず広く交流が行われている。

委員 新年交賀会の開催日について、若い人が参加しやすい日程に変更できないか。

事務局 今回についても、多くの方が参加しやすいように、1月5日、日曜日に開催した。日程について、今まで大原地区は、固定せずその年の暦に合わせて開催している。今後も開催日については、多くの方が参加しやすい日程で調整する。なお、参加者は、各自治会5人から10人程度で、全体の参加人数は、新型コロナウイルス感染症の拡大前からほぼ横ばいで推移している。

委員 内野体育館の利用率と経費についてどのような状態か。

事務局 今年度の利用者数は、八幡神社の先陣行列の練習があり、昨年度の10倍近くの人数となった。また、維持管理経費については、電気料、浄化槽点検委託料、清掃賃金等に係る費用がかかっている。特に、電気代は、使用頻度は低いものの、契約容量の関係で高くなっている。

委員 内野体育館の鍵の管理についてどのようになっているのか。

事務局 内野体育館は、事前予約が必要であり、利用申請が提出された際、管理人へ利用予約の連絡をし、管理人から鍵を借りて利用する。管理人については、鍵管理として毎月5,000千円の報酬を支払っている。

委員 内野体育館の利用率が低いが、当面、維持管理していくのか。

事務局 比較的建築年数が経過していないことや、耐震、設備等も問題がないことから、今後も利用の促進を行い、運営及び維持管理をする。

(2) 令和7年度大原市民センター運営方針及び事業計画（案）について
資料に基づき事務局から説明を行った。以下、質疑応答等。

委員 大ホールのLED化について、今後の計画等はあるのか。

事務局 市では市民センターのLED化について、計画的に整備を行っている。当該施設は、大ホール及び舞台を除き、令和8年度以降に整備が予定されている。なお、大ホール及び舞台装置については、音響照明機材を除きLED化の対応となる予定である。

委員 一関市内の市民センターで、指定管理などに移行したところはあるのか。

事務局 摺沢市民センターと渋民市民センターが今年度より指定管理となり、市内で直営により運営している市民センターは、当施設と狐禅寺市民センターの2施設となっている。また、中里市民センターが建設中である。

委員 市として指定管理を進めているのか。

事務局 市の基本的な考え方は、地域協働体が施設の管理運営を行っていくことが望ましいと考えており、各地域協働体の育成支援を行いながら、準備が整った地域から指定管理へ移行している。

11 その他

令和7年2月27日に開催された大原体育館に係る施設保有の見直し方針の懇談会について、同会議資料を使用し事務局より説明を行った。質疑等なし。

12 担当課 大原市民センター